★ ―――――――――――――――――――――――――――――― ★

☆☆★　　いわて マナビィ マガジン　　★☆☆

☆★　　No.129　　2017.2.10.　　★☆

★ ―――――――――――――――――――――――――――――― ★

**********　ＩＮＤＥＸ　**********

１．センター便り　『研究発表は、市町村で使ってもらうために』
２．教振なう！　『“フェイクニュース”に気をつけろ！』
３．編集後記　～ピエロが行く！～

★ ―――――――――――――――――――――――――――――― ★

１．センター便り　『研究発表は、市町村で使ってもらうために』

★ ―――――――――――――――――――――――――――――― ★

2 月 2 日(木)～3 日（金）に開催しました「岩手県生涯学習推進研究発表会　～地域づくり・人づくりフォーラム 2016～」は、2 日間で延べ 250 人の皆様にお集まりいただき、大盛況のうちに終えることができました。この場をお借りして、御礼を申し上げます。

研究①;「市町村における教育振興運動の効果的な推進方策に関する実践的研究」では、2 年間にわたって大船渡市及び宮古市と推進体制のあり方について共同実践を行わせていただいたほか、県内 33 市町村を訪問して収集した、各市町村の有効な実践を紹介させていただきました。市町村における教育振興運動担当者にとって、参考となる取組ばかりだと思います。

教育振興運動は、“地域における子どもの課題解決の取組”ですが、5 者のひとつである“行政の役割”は推進の鍵を握るものであると考えます。子どものため、地域のためという目的は、どの市町村も同じなのですから、他の市町村の取組を真似ることも良いことだと思います。

研究②;「効率的・効果的な事業評価のあり方に関する実践的研究」は、2 年研究の 1 年目として中間報告をさせていただきました。事業参加者の参加前と参加後の意識及び行動の変容を捉えることで、その事業の実施意義を評価することを提案しました。また、事業参加者の個を特定した抽出による分析結果と特定せずに全体を分析した結果の傾向に大きな差異がないということも判明しました。

すなわち、市町村における社会教育事業においても、事業のねらいに即した事前と事後の変容を、効率的に集計することが出来る SQS を使って調査し、全体の傾向をもって事業評価として良いということを提案したところです。ぜひ、参考にしていただきたいと思っています。

〇平成 28 年度「研究発表資料」・「パワーポイント資料」はコチラから

⇒ http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/kenkyu/kenkyuhoukoku.html

★ ―――――――――――――――――――――――――――――― ★

２．教振なう！　『“フェイクニュース”に気をつけろ！』

★ ―――――――――――――――――――――――――――――― ★

（教ちゃん）聞いてよ！お正月に、おもち食べすぎて太っちゃったぁ。

（振ちゃん）えっ～？そんなことないよ。

（教ちゃん）決めた！わたし、ダイエットすることにするっ！

（振ちゃん）って、どうするの？

（教ちゃん）大量の塩水を一気に飲んでダイエットする方法をインターネットで見たの。若い女性の間で話題になっているんだって！腸内がきれいになるのよ！

（振ちゃん）ちょっと待って！それってフェイクニュースだよ！

（教ちゃん）フェ、フェ、フェイク？何・・・それ？

（振ちゃん）その情報はウソってことだよ。お医者さんは、その方法は危険だって言っているから、やっちゃダメだよ！

（教ちゃん）えっ、そうなの？そんな情報を載せちゃ危ないじゃない。

（振ちゃん）インターネットの情報は、全てが正しいわけではないんだよ。本当の情報か、ウソの情報かを見極める力を身につけなくちゃね。

（教ちゃん）そんなの、わからないわよ。

（振ちゃん）今、新聞を読んだり、テレビニュースを見たりしないで情報はスマホで見る人が多いから、危ないんだよ。特にフェイスブック等のＳＮＳの情報は、自分が見たくない情報や好まない情報は見ない傾向にあるからね。自分の信じたいことだけを信じると真実が見えなくなってしまうから怖いんだ。

（教ちゃん）ドキッ！それって、わたしのことね・・・。

（振ちゃん）しかも、自分が信じたことを正しいこととして拡散してしまうから、フェイクニュースの被害者でもあるけれど、フェイクニュースを広める加害者にもなってしまうんだ。

（教ちゃん）わたしが加害者？何が本当か、わからくなってきたわ。

（振ちゃん）アメリカの調査によると、「フェイクニュースを拡散したことがある」と回答したと人は 23%だったんだよ。

（教ちゃん）フェイクニュースだと自覚していない人もたくさん拡散しているでしょうから、きっと 23%よりも多いわよ。

（振ちゃん）情報メディアは、あらゆる情報を瞬時に手に入れることができる魔法のツールだったはずだけど、偏った世界に迷い込む邪悪なツールにもなってしまうんだ。

（教ちゃん）自分が信じることだけではなく、多様な意見に触れることが大切っていうことね。それと、情報の発信源が信頼できる機関であるかどうかをきちんと確認することね。

（振ちゃん）これも、子どもたちに教えなくちゃならないことだよね。

★ ―――――――――――――――――――――――――――――― ★

３．編集後記　～ピエロが行く！～

★ ―――――――――――――――――――――――――――――― ★

♪　幸せって、何だっけ？何だっけ？　ポン酢醤油のある家さっ　♪

その昔、明石屋さんまさんがポン酢醤油のＣＭで歌っていた歌です。

日本・ブータン外交関係樹立 30 周年記念として『ブータン　しあわせに生きるためのヒント』が、東京・愛媛・岩手・山梨・兵庫・鳥取の 6 会場開催され、1 月 28 日（土）から 3 月 5 日（日）は岩手県民会館展示室で行われています。私も、過日見学してきました。

そこで上映されていたスライドショーの文章の一部を紹介します。

〇あなたがいい心を持っているなら、将来の心配はいりません。みんなが助けてくれるでしょう。

〇教員の仕事は、生徒に生き方を教えることなのです。

〇子どもは宝だよ。自分の子どもじゃなくても、大切な家族だよ。

〇もし、あなたが悪いことをすれば、悪いことが自分に返ってきます。もし善良であれば、いいことが自分に返ってきます。

〇欲望があるから、苦しみがあるのです。

〇常に自分の心を見なさい。そして心が乱れていたら、心をコントロールするのです。それが幸せに生きるコツです。

ブータンには「セムガェ（心地よい)」という言葉はあるそうですが、日本語の「幸せ」に該当する言葉はないそうです。そして、どんな時にセムガェを感じるかとインタビューをした映像では、「家族や友人と一緒にいる時」「我が子の顔を見ている時」「子どもが成長していく姿を見ている時」「親の手伝いをしている時」と答えていました。

今、本県では“幸福度”を指標としようと準備を進めています。さて、皆さんはどんな時に「セムガェ」を感じますか？

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

このメールマガジンは、県内小中学校、社会教育関係者及び生涯学習・社会教育に関心を持たれている登録者の皆様に無料で配信しています。ご意見・ご感想、登録・登録解除は下記アドレスにご連絡ください。　⇒　E-mail；atu-satou@pref.iwate.jp

メルマガのバックナンバーをセンターＨＰ「まなびネットいわて」で閲覧できます。⇒　http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/

左下の「発行物・刊行物」＞「いわてマナビィマガジン」をクリック

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

発　行：岩手県立生涯学習推進センター　（花巻市北湯口 2-82-13）

編　集：佐　藤　敦　士